

まちづくりライブラリー

全国に誇るまちづくりの専門図書館です。名古屋市の戦災復興に関する資料や都市計画関連図をはじめ、都市計画概要などの行政資料、建築・交通・環境などの図書、研究機関・シンクタンクなどの調査研究報告書などを収集しています。

特集 名古屋陶磁器会館

名古屋陶磁器会館は昭和7年に名古屋陶磁器貿易商工同業組合の事務所として竣工した鉄筋コンクリート造3階、地下1階の建物です。設計は名古屋高等工業学校（現名工大）教授の鷹栖一英氏によるものです。

名古屋の陶磁器輸出・加工業の歴史は、瀬戸・美濃から仕入れた素地の上絵付けをし、輸出することから始まりました。

明治後半になると、瀬戸や東濃への街道や堀川に近く、船積みにも便利という好立地や、武家屋敷跡地などのまとまった土地があったことから、東区に陶磁器の生産拠点が置かれ、絵付け職人や加工業者が集まるようになりました。

こうした背景をもとに名古屋は輸出陶磁器の一大生産地となり、名古屋陶磁器会館は名古屋陶業界の力を内外に示す役割を果たしました。

建物は1階の大きな半円窓、軒下のレリーフ装飾帯、縦横の線の装飾的構成、外壁の櫛引スクラッチタイル張りの外観が特徴の名古屋を代表する表現主義建築の一つです。



平成20年3月には、名古屋市の景観重要建造物に指定され、同年10月には国の登録有形文化財に登録されています。

現在は、1階部分がギャラリーとなっており、輸出陶磁器の展示・販売ほか絵付け教室などが行われています。また建物がもつレトロな雰囲気から映画やテレビの撮影に活用されています。

- ◆参考文献 ※()内はまちづくりライブラリーの請求記号
 『界限創世 やきものの未来へ』名古屋文化遺産活用実行委員会／編 (Se-na)
 『近代建築ハンドブック(東海・北陸編)』瀬口哲夫・竺覚暁／編 鹿島出版会 (Se-te)
 『名古屋の史跡と文化財(新訂版)』名古屋市教育委員会／編 (Sc-na)
 『ひがし見聞録』東区制100周年記念事業実行委員会／著 (2B21-2008)

まちづくりライブラリー資料展

「名古屋駅周辺のまちづくり」展

平成28年9月23日(金)～12月21日(水)



名古屋駅は今年開業130年を迎えました。2027年、リニア中央新幹線品川・名古屋間の開通が予定されています。現在、名古屋駅前やささしまライブ24地区では再開発事業が進められています。資料展では名古屋駅の変遷や周辺のまちづくりについて紹介いたします。

次回資料展予告

平成28年12月23日(金)～平成29年3月22日(水)

「名古屋の近代建築コレクションII」展

職場体験・インターンシップの受入

名古屋商業高校2名の生徒が、まちづくりライブラリーにて図書・雑誌に関する業務、受付業務、資料展示業務等を体験しました。

また、夏季インターンシップとして、名古屋市内の3大学から3名の学生の受入を行いました。

新着図書紹介

『世界の都市地図500年史』

著者：ジェレミー・ブラック
 出版社：河出書房新社
 請求記号：Ne-7

都市地図は古くからつくられています。後世に残る割合はとて低く、ここ500年ほどのものしかありません。

本書では、欧米だけでなく各大陸の大都市の発展と変容を約200点にのぼる貴重なオールカラー地図でたどることができます。中国、インドなどアジア圏も充実しており、日本からは江戸・京都・長崎など9図が掲載されています。



『東山絶滅動物園』

著者：武藤健二／写真、佐々木シュウジ／文
 出版社：三恵社
 請求記号：Se-M

東山動物園公認フォトブック！

クラウドファンディングサービスを利用して出版された絶滅動物園プロジェクト第1弾です。撮影当時見られた絶滅危惧種全109種が紹介されており、人気のニシローランドゴリラ「シャバーニ」も一番絶滅する可能性が高いカテゴリーに分類されています。

かわいいだけでなく、どこか哀しくやるせない気持ちになる写真集です。



『ご当地発のリトルプレス』

著者：PIE BOOKS／編著
 出版社：パイ インターナショナル
 請求記号：Pb-ハ

「リトルプレス」とは、個人や団体が制作した少数数発行の出版物で、出版社や一般的な書店流通を通さずに販売されています。

本書では47都道府県から集められたリトルプレスが紹介されており、その土地ならではの魅力をさまざまな切り口・デザインで伝えています。

リトルプレスをつくりたい人、地域を元気にしたい人たち必見の一冊です。

